

平成17年9月17日
原子力安全対策課
(17-58)
<14時記者発表>

美浜発電所1号機の定期検査状況について
(B-湿分分離加熱器加熱蒸気ドレン管からの蒸気漏れに伴う出力降下)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所1号機(加圧水型軽水炉; 定格電気出力34.0万kW)は、第21回定期検査の調整運転中(電気出力約100%)であるが、本日9月17日10時10分頃、運転員の巡回点検において、タービン建屋2階にあるB-湿分分離加熱器加熱蒸気のドレン管*1に取り付けられている温度計の管台溶接部から、わずかな蒸気漏れを確認した。

このため、本日13時20分から出力降下を開始し、16時頃に電気出力を約50%とし、当該湿分分離加熱器への加熱蒸気系統を隔離し、点検・補修を行うこととした。

なお、本事象による環境への放射能の影響はない。

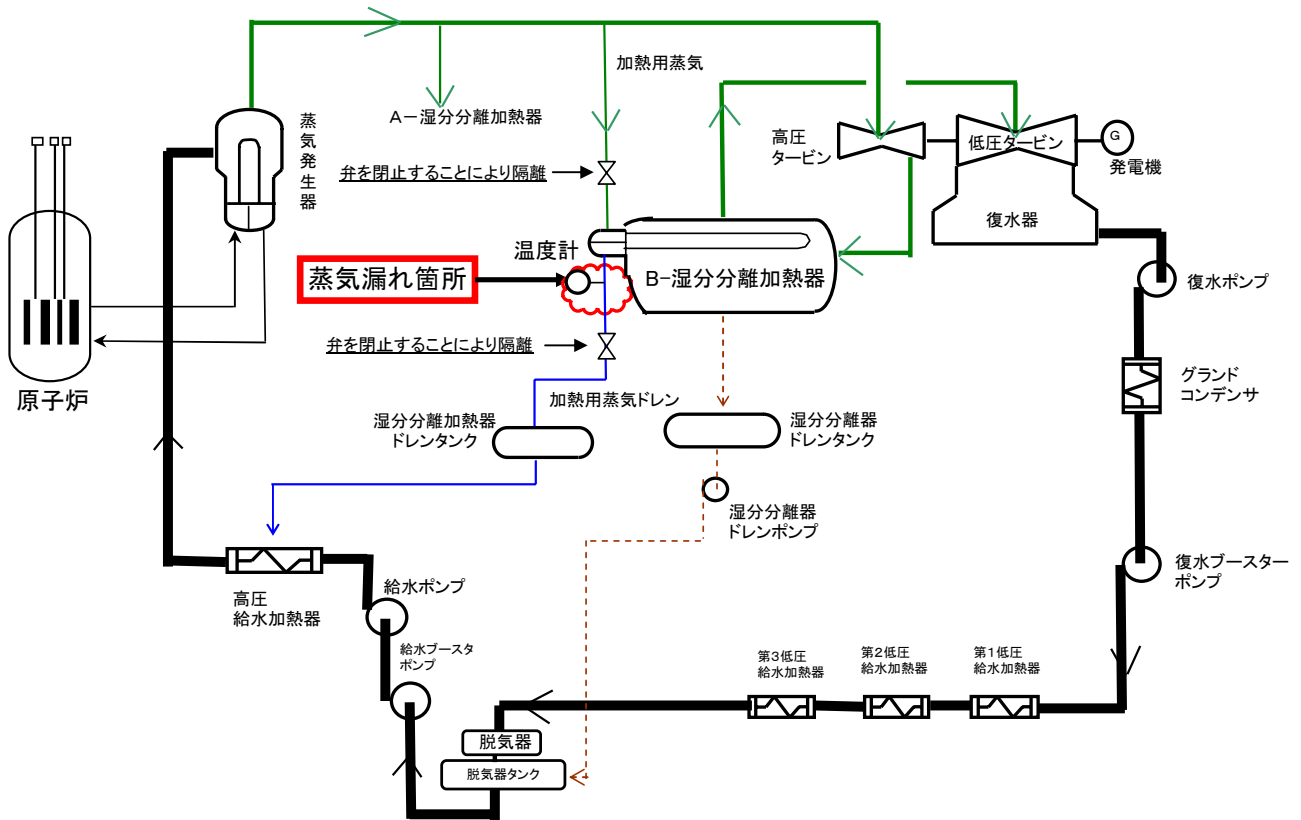
*1: 湿分分離加熱器は、高圧タービンから低圧タービンに流れる蒸気の効率(湿分除去と加熱)を高めるため、蒸気発生器で発生した主蒸気により加熱する機器。
加熱蒸気ドレン管は、この加熱用に使用した主蒸気のドレンを湿分分離加熱器ドレンタンクに送る配管。

問い合わせ先(担当: 伊藤)
内線2353・直通0776(20)0314

美浜発電所1号機

B-湿分分離加熱器加熱蒸気ドレン管からの蒸気漏れに伴う出力低下について

系統概略図



状況写真



【B-湿分分離加熱器加熱蒸気ドレン管仕様】
 直径: 約17cm
 材質: 炭素鋼
 運転圧力: 約4.8MPa
 運転温度: 約260°C